

いただいたご意見の内容とご意見に対する考え方

ご意見の内容	考え方
PI計画に関するご意見	106意見
PI導入についてのご意見	
PI導入を評価するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ P I手法の導入は、時代に即して大いに良いことだと思う。 ・ P I導入は好ましいと思う。 ・ P I手法の導入は非常に有効な方法。 ・ P Iを行うことは非常に重要。 ・ このP Iの(案)については問題ない。 ・ P Iの導入には賛成。 ・ 空港問題に関しては、県民、市民の意見を聴取すべきと思っていた。今回のP Iの案には賛成。 ・ 福岡の将来について、真剣に議論できるような十分なP I活動が必要。 ・ 意見収集の方法については、大変丁寧な方法だと思う。 ・ 一般の県民に幅広く意見を求めるのは非常にいいこと。 ・ 真の意味での住民参加を促したいという積極的な姿勢が感じられる。 ・ 幅広い市民に呼びかけ、判断の根拠となる資料を十分に提供し、福岡空港の現状等を知らせるには良い企画。 ・ 「一連の調査の当初から、透明で公正なプロセスにより情報提供及び意見収集を行い、市民等との信頼関係を築きながら、進めていくことが重要。」という点については、全面的に支持する。 ・ 空港問題に対する慎重かつ柔軟な進め方に共感を感じる。今後、このようなP Iのあり方が新しい公共事業遂行の先進的な規範となり、市民等に開かれた形での事業遂行が広く行われることを望む。 ・ 過去の取り組みを反省した上で、「情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施」を基本方針の柱のひとつとしていることについて、評価する。 ・ 国土交通省のガイドラインに規定されている以上の実効的なP Iの取組みは、市民等の意見を反映させるための先進的事例だと思う。 ・ 調査段階からのP I実施は、画期的。 ・ 過去の課題を自ら評価し、コミュニケーションの不足等を認め、調査段階からP Iを実施するのは画期的。 ・ 調査段階からP Iを行うのはむしろ当然。 ・ できることは協力したい。 	<p>福岡空港が国や地域にとって重要な役割を果たしていること、また、これまでの検討の経緯等から、総合的な調査については、透明性、中立・公正性を確保し、県民、市民、利用者等の幅広いご意見を反映しながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>そのための具体的な仕組みをお示ししたのがこのP I計画です。</p> <p>今後、このP Iを実施していくに際しては、皆様の信頼とご期待に応えられるよう、努力してまいりたいと考えております。</p>
PI導入を評価されないご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ P Iで調査の方向性をお膳立てし、新空港建設を補強する為の都合のよい意見を集めているのではないか。 ・ 高速道路など利用者数のでたらめな予測、予算の過小見積もりなど、官公庁の出す数字は信頼できない。 	<p>福岡空港の重要性、これまでの検討の経緯等から、幅広く皆様に対し、積極的に情報を提供するとともに、意見を収集・反映しながら総合的な調査を進めていくことが重要と考えております。</p> <p>本計画に沿って、開かれた形で議論を積み重ね、皆様の信頼を得ながら進めていきたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
<p>取り組み姿勢等についてのご意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込んだ空港問題を検討するシステム作りが必要。 ・様々な面でオープンにすることが重要。 ・よりよい福岡の発展のため、多くの意見を反映し、よりよい街づくりとなることを希望。 ・賛否両論あると思うが、偏った立場からPIを進めるのではなく、公正な見地で議論を尽くすべき。 ・公正に諸事を判断し、プロジェクトを進めてもらいたい。 ・PIの手法には賛成するが、より多くの人の意見が反映されるかどうかは疑問。 ・幅広い市民参加に向けては、「情報の提供」、「多数、少数の意見を公正に」、「公表の原則」を実行し、市民が空港問題を身近に感じ取れることが大切。 ・行政が熱意をもって取り組めば、市民も段々積極的に参加して来るのではないかと。 ・市民の意見がどのように反映され、どのようにチェックするのかを具体的に示すことで、更なる市民の参加に繋がっていくのではないかと。 ・幅広い市民参加という考えは良いが、今必要なのは、専門家のリーダーシップではないかと。 	<p>このPI計画は、「全体の進め方を明確にし、市民等と共有」「基本的なところから段階を踏んだ検討とそれに連動したPI」「市民等にとって分かり易く、公正さを担保できる体制の確保」を基本的な考え方として、皆様に参加していただく仕組みとして検討したものです。</p> <p>ご指摘のようにオープンで公正な姿勢を確保することは、最も重要かつ基本的なことであり、今後、PIを実施していく中で、実績として積み重ね、皆様の信頼を得てまいりたいと考えております。</p>
<p>PI実施主体の役割についてのご意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・PIを実効性のある内容とするためには、中心組織である連絡調整会議が、どのような責任を背負っているのか、市民等に明確に示す必要がある。 	<p>福岡空港の総合的な調査には、国、福岡県、福岡市の複数の行政機関が関わります。</p> <p>そのため、調査の整合性を保ちつつ、円滑かつ効率的に進めていくための連絡調整の場として、「福岡空港調査連絡調整会議」を設置しました。</p> <p>一方で、PIを実施する時、皆様から見て、どこに情報があり、どこに意見を言えばよいのかなど、分かりやすいことが必要です。</p> <p>これらのことから、連絡調整会議が、方向性（案）を作成する機能と、PIを実施する機能を持つことが適当と考えております。皆様の周知につきましては、今後、あらゆる機会をとらえてお伝えしてまいりたいと考えております。</p>
<p>検討の進め方についてのご意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・PI導入は良いこと。検討項目、判断の根拠をしっかりと公表して、各ステップで確認することが必要。 ・PIの導入に賛同する。4つのステップについても適切で、次のステップへの進み方の考え方も理解できる。 ・現状の問題点を十分検討し、情報を公表して欲しい。 ・方向性が出なかった、まとまらなかった場合、どうするか。 	<p>この計画の中で、検討を4つのステップを踏んで行うこととしておりますが、これは、皆様に分かりやすく、また、意見を言いやすいようにするためには、現状認識など基本的なところから段階を踏んで、議論を深めていくことが必要であると考えたためであります。</p> <p>このステップに沿って、皆様の参加を得ながら検討を進め、適切な結論を得てまいりたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
総合的な判断についてのご質問	
<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な判断」の方法をもっと具体的にわかりやすくして欲しい。 	<p>福岡空港の施策の方向性については、P Iを実施しながら案が作成され、関係行政機関において、今後の国や地域の政策全体の整合性、空港や航空機運航に係る専門技術的な評価、並びに利用者や住民の意見を総合して絞り込まれ、議会等での審議など所定の手続きを経て決定されることとなります。</p>
P Iの名称についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ P Iという言葉は日本語で表記すべき。 	<p>P Iとはパブリック・インボルブメントの略であり、直訳すれば、市民参加、市民参画などとなりますが、「市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス」という主旨をすべて含んだ言葉が現在の日本語にないため、P Iという言葉を使用しております。</p>
情報提供のあり方についてのご意見	
情報の公表、内容等についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・結論が出るまでの過程において、すべての情報を公開して欲しい。 ・明確な調査結果の公表が肝要。 ・情報を分かりやすく十分に提供すること。 ・必ずしも興味があるという分野ではないので、情報は読みやすく、わかりやすく、判断基準も十分に公表して欲しい。 ・上手に調査結果を知らせて欲しい。 ・目の前の情報だけでなく、全体的な情報を正確に開示することが大事。 ・事業費や財源問題について、適正な情報提供がなされるべき。 ・国、県、福岡市、民間の負担と財源の内訳まで含めて情報提供をおこなって欲しい。 ・一般の人達に現空港の建設経緯や現状を十分に知らせ、空港周辺住民の悩みを十分理解させるようにして欲しい。 ・過去に起こった交通体系の変化時に福岡空港の需要がどのようになったかを情報公開して、今後起こることを住民に予想してもらい必要がある。 ・様々な意見を十分に聞きながら、適時情報を提供していくことがコンセンサスの形成に不可欠。 ・「福岡空港調査連絡調整会議の判断を経た情報」とは、同会議でフルイにかけた情報ということか。 	<p>福岡空港の総合的な調査については、開示請求を受けて行う情報公開にとどまらず、積極的な情報提供を行ってまいります。</p> <p>このため、国や地域の調査結果を取りまとめた報告書自体を公開するとともに、P I活動で提供する情報については、福岡空港調査連絡調整会議において、複雑多岐にわたる調査内容を分かりやすく取りまとめて、提供してまいります。</p>
県外、国外等への情報提供についてのご質問	
<ul style="list-style-type: none"> ・県外や国外の市民等に対する積極的な情報提供の方法はどうするのか。 	<p>P Iに係る情報については、福岡県の情報センターや福岡市の情報公開室での閲覧、インターネット、福岡空港等の公共施設を活用するなど、今後策定するP I実施計画の中で、幅広く皆様が入手しやすいよう工夫してまいりたいと考えます。</p>

ご意見の内容	考え方
意見収集についてのご意見	
意見収集の対象範囲についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の福岡空港に関する一般住民の意見を広く求める。 ・空港周辺に住んでいる人の意見も聞いて尊重して欲しい。 ・近隣の方の理解も求めて欲しい。 ・計画作成には、地元利用者よりも、東京をはじめとして他の空港からの利用者の声を尊重すること。 ・利用者として積極的に意見を出していきたい。 ・利用者の意見を重要視してもらいたい。 ・空港利用者だけでなく、非利用者からも意見を聞くべき。 ・P Iを行う以上、ヒステリックな意見やネガティブな意見の方が先行することも考えられるが、多くの人の意見を汲みとる必要がある。 ・公的機関としての国、県、市だけではなく、利用者としての国、県、市としてもP I参加者に加えるべき。有事に際して等の意見もあるはず。 ・P I参加者に空港・航空関連企業だけでなく、鉄道、海運、バス等の企業も含め、交通行政全体から考えるべき。 ・企業や団体など定期的で頻繁な利用者があるところを通じて意見を聞くことも重要。ただし、建設、運輸など空港そのものに利害があるところは除外すべき。 ・県外居住者、海外居住者にはどのようにP Iに参加させるのか。 	<p>福岡空港の総合的な調査に係るP Iに関しては、福岡空港の重要性、広域性、影響の多様性等から、幅広い皆様の参加が極めて大事であると考えております。</p> <p>そのため、空港利用者のみならず、周辺地域住民、福岡市民、福岡県民、関係自治体、地元経済団体、空港関係企業、有識者など、出来るだけ幅広くご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>なお、今回いただいたご意見については、P I実施計画の策定に反映してまいりたいと思います。</p>
意見収集の適正性の確保等についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見を公正に取り扱い、公表すること。 ・提出された意見の取り扱い方の明示が必要。 ・幅広い意見から一つの方針を出すことになるだろうが、なぜその判断をしたのか、なぜ別の意見を取り入れなかったのかという根拠を、明確に打ち出すことが大切。 ・アンケート作成の際、先入観、意見誘導等が入ることの排除策は？ ・（意見収集の際の）質問は、簡潔でわかりやすい表現にして欲しい。 	<p>公正で透明な意見の収集、取扱いは、皆様とのコミュニケーションを図る上で、最も基本的な事項であると認識しております。</p> <p>そのため、P I活動でいただいたご意見は、個人が特定されるような情報を除いて、実施主体としての考え方も付して、公表することが必要と考えております。</p> <p>また、第三者機関が、P I活動等について監視、助言することで、その適正性、公正性を確保したいと考えております。</p> <p>なお、今回いただいたご意見については、今後策定するP I実施計画の検討に反映してまいりたいと思います。</p>
多様なメディアの活用など周知広報についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べる場があれば、積極的に参加したい。市報、県報などで幅広く機会を知らせて欲しい。 ・幅広い人達から意見を募集するなら、もっと大々的にPRをした方がよい。 ・P Iを進める上で重要なことは、市民に対する広報を十分に行うこと。 ・P Iで広く意見を収集するため、様々なメディアを通じ市民の意識を高める広報に力を入れて欲しい。 ・普段の生活にあまりなじみのない問題。紙面、市政だより等で十分紹介した方がよい。 ・情報提供の方法として、テレビ放映の活用を。ニュース等の郵送を。 	<p>P Iにおいては、広く多くの皆様に参加していただくことが重要です。</p> <p>そのため、より多くの皆様に、このP I計画や今後策定する実施計画等について知っていただけるよう、工夫してまいりたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞などマスメディアを通じたPRが重要。 ・市民の多くが興味を持つようなPRをおこなわないと幅広い意見は寄せられない。 ・P Iの導入には賛同するが、この（案）自体の認知度が低いと思われる。もっと様々なメディアを活用しPRした方がよい。 ・大規模公共事業でP Iを導入するのは、今や当然だが、ほとんど知られていないのが実情では。 ・国民年金のように広告にお金はかけたけど、周知できなかった、興味を示さなかった、意見が出なかったということがないよう、することが必要。 ・この意見募集結果をきちんとニュースや新聞記事で知らせるべき。認知度が低ければ、方法を再考すべき。 	
第三者機関についてのご意見	
第三者機関の構成や委員の選定のあり方についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関について、助言はどれくらい参考にするのか。 ・第三者機関について、何名の構成で、どんな権限を持つのか明記して欲しい。 ・第三者機関の構成員に一般市民等を含めるべき。また、第三者機関の構成員が5、6人は少なすぎる。 ・福岡空港調査委員会委員、P Iの第三者機関の構成員に公募県民を採用すること。 ・P I実施主体が第三者機関を選定するのはおかしい。 ・空港機能を増強する立場の福岡空港調査連絡調整会議がP Iの実施主体とし、そこが第三者機関の構成員を選定するのはおかしい。情報提供、意見収集等お手盛りになる。 	<p>第三者機関は、福岡空港の総合的な調査のP Iに関し、皆様と関係行政機関との間のコミュニケーションを監視する機関です。</p> <p>そのため、空港計画、P I、法制度、行政手続、情報公開、コミュニケーションなど一定の専門性が必要であり、これらの分野の有識者で構成することが必要と考えております。</p> <p>また、その選定に当たっては、P Iの先進地である欧州各国の例も参考に、関係行政機関が、候補者とその選定理由を公表したうえで選定することとしております。</p> <p>また、第三者機関はP Iの監視活動に際し、迅速性、機動性が要求されるため、5、6人程度の体制が望ましいと考えております。</p> <p>第三者機関の事務や権限等については、この計画にその概要を記載しておりますが、今後、具体的な規約等を整理することとしており、その中で明確にしていきたいと思います。</p>
第三者機関の情報公開についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・原則公開とあるが、原則という言葉は非公開を助長するので、全面公開とすべき。非公開する事項を初めから限定明記してはどうか。 	<p>個人情報、事業情報など、権利、利益に関わる資料、審議途中等で公開すると著しく誤解を生じるような資料など、その性質等が公開に馴染まない情報を除き、第三者機関の取り扱う資料については、公開することとしております。</p>
具体的なPI手法についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・P I手法について、今までのような説明会、公聴会のあり方では駄目。 ・ニュースレターはコンパクトなサイズで駅の改札にあると手しやすい。 ・国民の側に立った政治がされていない。国民の立場を前面に、公正な民間人を会議に多く入れて欲しい。 ・公募県民による市民参加型協議会を設置すること。 	<p>P Iにおいては、ステップの課題や内容に応じて、適切かつ多様な情報提供や意見収集の手法を導入することとしております。</p> <p>今後、策定するP I実施計画の中で具体化してまいります。今回いただいたご意見につきましては、その際の参考とさせていただきます。</p>

ご意見の内容	考え方
スケジュールの明確化や時間管理の必要性についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ P I をやっていくことは理解できるが、スケジュールをもっと明確にして欲しい。 ・ スケジュールが不明確。必要なタイミングで適切な結論を持つことが必要で、タイミングを逸すれば、空港の利便性の低下につながりかねない。また、意見を出す側もスケジュールがわかれば事前準備等がしやすくなる。但し、スケジュールありきではなく、P I が形式上のものにならないように留意して進めるべき。 ・ いつまでに実施するのか等スケジュールが分かるようにしてもらいたい。 ・ どのくらい時間がかかるか明記されていない。期限を決めて早急に結論を出すべき。 ・ P I 実施の目安としての期限を設定すべき。 ・ P I は重要だが、そのスピードも重要。 ・ スピード感をもって実施すべき。 ・ P I で集まった意見は、必要以上に時間をかけずに公表して欲しい。 ・ 方針決定に時間を浪費しないよう努力すべき。 ・ 民意の反映は良いと思う。一方で、民意を気にするあまり、事業の遅延や方向性が発散してしまうことが心配。 ・ 幅広い市民参加や情報提供は重要。一方で、スピーディな対応をとる上での妨げとならないような対応は難しいのではないが。 	<p>P I の実施に際しては、皆様との双方向のコミュニケーションを基本に、十分に情報を提供し、意見を収集していくこととなります。</p> <p>そのため、現時点では、全体のスケジュールを予め示すことは難しいと考えておりますが、一方で、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など適切な時間管理も重要と認識しております。</p>
本案のパブリック・コメントの実施方法についてのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役所のチラシ置き場や、HPに載せるだけでなく、TV、新聞全面広告などメディアを多用し、真に「幅広く」意見聴取できるよう積極的に情報提供すべき。 ・ 意見募集期間が1ヶ月では短すぎ。 ・ パブコメの期間が1ヶ月は短すぎる。 	<p>今後のP I 活動に際しては、できるだけ幅広く意見収集できるように、情報提供、意見収集の方法、期限の設定等について十分配慮してまいりたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
総合的調査等に関するご意見	85意見
<p>(現在の福岡空港に関するご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡空港は利便性が高い空港。 ・福岡空港は、日本の中でも有数なアクセスを持ち利便性が高い。 ・福岡空港は、今の場所にあるからこそ発展し、利用者も増えた。 ・現空港は利便性が高く、移転しない方が良い。空港が移転した場合の跡地利用も大変色々な問題を抱える。 ・利便性が高いということは、非常に危険性も高いということであり、何らかの対策を講じる必要がある。また、多額の環境対策費等がかかっている。 ・福岡空港は利便性が高い反面、周辺環境に悪影響を与えている。これ以上の増便はすべきでない。 ・ゴールデンウィーク等利用の多い時期の便を増やすなどで、空席待ちの状態を少なくして欲しい。 ・福岡空港の発着は時間どおりでなく、交通機関としての役目を果たしていない。 ・現空港が過密なのは動かしようのない事実。 ・現空港は今よりも多くの発着回数に耐える能力を持っている。 ・今のままで我慢して使うというのも選択肢のひとつ。 ・福岡空港と博多港とのアクセスを確保して欲しい。 ・福岡市以外の自治体からのアクセスを検討して欲しい。 ・福岡空港と佐賀、大分、長崎県等との交通手段についても検討して欲しい。 ・出迎え駐車場の便を図ってもらいたい。 ・車で送迎の際の駐車スペースを設けてもらいたい。 ・第1ターミナルと第3ターミナルの間の交通アクセスを考えて欲しい。 ・出発便、到着便ともどのターミナルなのかわかりにくい。わかるようにして欲しい。 <p>(近隣空港との連携に関するご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣空港との連携を図るべき。 ・福岡空港、北九州空港、佐賀空港で分担できると思う。 ・北九州空港、佐賀空港の活用、活性化が必要。 ・玄海沖に新空港を建設するのではなく、新北九州空港、佐賀空港との連携を考えるべき。 ・福岡空港の利用者は最近増えていない、需要の増加は世論誘導。新北九州空港、佐賀空港と機能分担すれば新空港は不要。 ・交通アクセスを整備して、北九州空港、佐賀空港との連携を考えること。 ・他空港との道路網を整備して効率的な活用を。 ・国際線を別の空港にもっていくなど、北九州空港、佐賀空港がもっと活用される案を考えて欲しい。 ・福岡空港は国内線専用とし、国際線は近隣空港を整備拡充するべき。 ・新北九州空港に国際線に移せば経済刺激となり、航空需要を緩和できる。北九州市の復活に協力しても良いのでは。 	<p>福岡空港については、平成14年12月の国の審議会答申で、将来の混雑問題などについて、「総合的な調査」が必要であることが示されました。</p> <p>このことを受けて、平成15年度から国と地域（県・福岡市）が連携・協力して、「今の滑走路一本でどれくらい活用できるのか」「近隣の空港を活用できないか」「今の空港で滑走路を一本増やせないか」「新しい空港を作って対応するか」などについて幅広く調査し、必要な対応案を考えていくことになりました。</p> <p>福岡空港のあり方は、地域の将来に大きな影響を及ぼすものと考えられますので、皆様にとって最善の結果が得られるよう調査を進めてまいります。</p> <p>また、「総合的な調査」を進めて行くに当たっては、PI手法を導入し、透明性、中立・公正性を確保し、県民、市民、利用者等関係者の皆様へ積極的に情報を提供し、ご意見を反映しながら進めていくこととしており、今回いただいたご意見につきましてもその中で考慮してまいります。</p>

ご意見の内容	考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・北九州の空港との連携を検討すべき。 ・国際線の一部を佐賀空港に移すのが良い。 ・福岡空港に容量限界や騒音問題があるなら、福岡空港を廃止して、佐賀空港へ移転するのが望ましい。新北九州空港と佐賀空港の2つがあれば北部九州の需要は賄える。 <p>(中長期的な観点からの抜本的な対応策に関するご意見...滑走路増設等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現空港の拡張は検討したのか。 ・1兆円かけて新空港を作るなら、その金で3500mの滑走路を2本作る方が現実的。博多の森競技場などを削れば場所も確保できる。 ・福岡空港は利便性が高い空港であり、この空港の存続のために知恵を絞りましょう。 ・米軍、自衛隊をなくせば滑走路の増設も不可能ではない。 <p>(中長期的な観点からの抜本的な対応策に関するご意見...新空港)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡空港は日本一便利がよく、新空港を作ると不便になる。 ・現状では、都市型の方が利用しやすく便利。別の場所に作ると不便になる。 ・便利な空港を不便にする考え方に不信感を持つ。 ・交通の便がいい、福岡空港の移転に反対。 ・空港移転で不利益を被るのは、国内線の乗客であり、航空需要の対応に莫大な予算を投じて新空港を建設することが唯一の解決手段ではない。 ・移転すると不便になり、利用価値の低下や採算が不透明。借金だけが残る。新しく空港を作るべきではない。目先のものばかり作るのは止めるべき。 ・新空港は環境破壊と大きな負担が必要、国民の負担、借金も莫大。建設すべきではない。 ・新空港はなぜ24時間運用でないとダメなのか。建設費はどこから拠出されるのか。 ・国も地方も財政が厳しくなっており、無駄な投資を行うべきでなく、近隣空港への分散化を図り、交通網の整備を行うことによって、新空港の建設は必要ない。 ・九州にはこれ以上空港は必要ない。 ・「新空港建設ありき」の疑念が払拭できない。 ・県、市は新空港ありきで、国が入ってもかわらない。まず抜本的に姿勢を変え出発点に戻ることが必要。 ・かつて出された新福岡空港基本構想は、右肩上がりの発想で疑問を感じる。 ・かつての新福岡空港基本構想の新空港予定地は、外海で攻撃される恐れがある。 ・新空港を便利な場所に建設することは賛成。人流、物流のメリットが高い。 ・新しい空港が必要であり、どこで、どの程度のコストなのか問題。 ・新空港について市民の意識が薄れつつある。現空港の危険性等について知らせ、具体的な方向に向かうべき。 ・福岡空港の新しい姿を早くみたい。 	

ご意見の内容	考え方
<p>(その他総合的な調査全般に関するご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡空港問題は本来国が責任を持って対応すべきであり、国が中心となって調査することになったことは望ましい。 ・近隣空港まで視野を広げ、もう一度原点に戻って福岡空港を見直す姿勢は大いに評価できる。 ・空港は国の発展のために必要。 ・空港の安全性を図る観点からも検討は必要。 ・今後需要が増えるのは確実。どのような方策が提案されるのか注目している。 ・多数の意見を集約して、利用しやすい、東アジアでベストの空港を作って欲しい。 ・空港は福岡にとって地域発展の鍵になる重要な施設なので、将来のあるべき姿を念頭に、超長期的視野にたって空港を考えて欲しい。 ・将来的な国や地域の構想の中から、あるべきインフラを提言することが重要。 ・総合交通体系を考慮した上での福岡空港のあり方を考えて欲しい。 ・現在すでに予想される交通体系の変動内容を住民が理解した上で、福岡空港の何年後の将来像の意見を要望するかどうかを明確にしないと効果的な交通体系の構築は不可能。 ・P Iは理解できるが、構想ができると同時に、地元の悩みも解消できるようにすべき。 ・幅広い参加といいながら、空港周辺住民の悩みを消化せず、総合的な調査における課題との間にギャップがある。 ・総合的調査のスケジュールがよくわからない。 ・スピーディーに進めて欲しい。 ・現空港の空港機能は目一杯の状況。スピードを持って進めてもらいたい。 ・福岡空港調査連絡調整会議の構成メンバーが不明確。福岡県以外の他県の意見も必要。 ・既存ストックの有効活用や近隣空港との連携方を調査する場合は、佐賀県や北九州市、下関市等に重要な役割を与えることが必要。今のままでは、福岡市の要求ばかりが強調され、他地域の意見が全く見えてこない。 ・新北九州空港の位置づけや将来の役割をまず明確にすべきである。 ・調査はきちんとした調査として、全く拘束されない三者機関に実施させることを希望する。 ・調査は方向付けによってどのような結論も導ける。透明、中立・公正性を確保といっているが基本構想を踏襲しているのではないか。総合的な調査自体に不信を感じる。 ・総合的な調査では、近隣空港との連携方策や既存ストックの有効活用に関し基本構想をまとめ、新空港の基本構想と比較すべき。 ・解散した新福岡空港調査会が行った調査と今回の調査の違いを明確にすべき。 	

ご意見の内容	考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会は、航空需要を抑制し、鉄道交通へ転換するための判断材料として、以下の調査を実施すること。 (項目) ・航空利用の少ない人等の移動手段の動向。 ・国内空港の運航、収支、経費負担状況。 ・国、福岡県、福岡市の債務と償還見通し。 ・ヨーロッパ等における航空事情。 ・ドイツ等における空間利用計画、交通網計画。とくに短距離航空路線の鉄道転換等の計画、都市における自動車利用の抑制と代替交通。 ・航空交通の差別性、消費エネルギー・環境負荷。 ・2030年、2040年の世界の原油埋蔵量、採取、消費量等の予測。 ・京都議定書のCO2削減目標に関し、国、福岡県、福岡市の交通政策における達成状況。 <p>・総合的な調査の4項目については、すでに行政機関が結果を保有しているのではないかと。</p> <p>・将来、県民に過大な負担がかからないような計画づくりを望む。</p> <p>・事業拡大ばかりに目を向けず、今までの無駄遣い(施設建設等)を反省し、税金を大切に使うことを望む。</p> <p>・人口減少の中で乗客が伸びるのか。</p> <p>・需要は多く見積もり、建設費は当初見積もりよりも高くなっている。</p> <p>・市街地空港の安全性、民有地の問題等議論が必要。</p> <p>・現空港に関する問題(借地問題など)については、様々な議論が必要。</p> <p>・現空港は世界でも類を見ないほど利便性が高く、滑走路を25mかさ上げするなど提案する。</p> <p>・現在の福岡空港は機能しなくなることが明らか。今頃から総合的な調査を行うことが理解できない。</p>	